

### 3 令和7度市全体の店舗調査集計結果の概要と考察

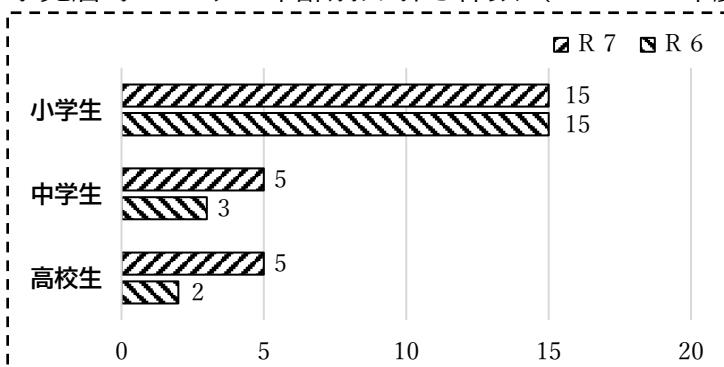
#### ★地域別調査協力店舗数 計 64 店舗

##### 地区別

地区名	調査店舗数	地区名	調査店舗数	地区名	調査店舗数
南流山	10	八木	9	常盤松	2
南部	13	東深井	9	西初石	2
東部	1	北部	11	おおたかの森 おおぐろの森	7

#### ■調査結果の現状について

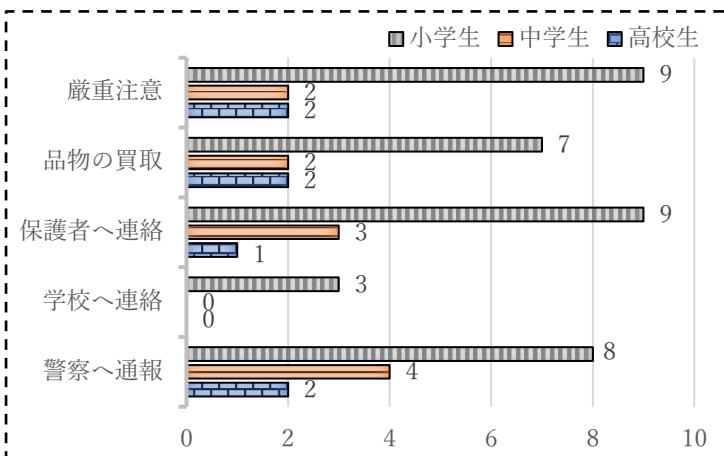
##### ①小売店等における年齢別万引き件数（上がR7年度）



① 昨年に引き続き、小学生の万引きが依然として多い傾向は変わりなく、中高生も微増加傾向にあります。

幼少期などの早い段階から家庭も含め規範意識の育成が必要です。

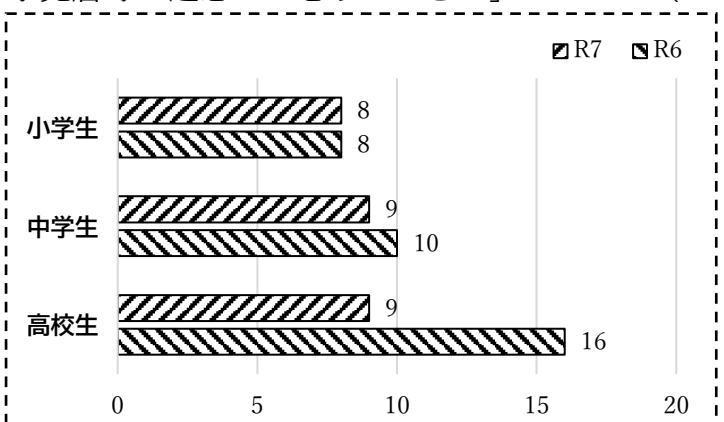
##### ②小売店等における万引きへの対応内容 ※複数回答含む（上から小中高）



② 万引きへの対応は、警察へ連絡、保護者へ連絡して買い取りが多いようです。また、聞き取り調査から、コンビニエンスストアや書店での万引きが目立ちました。

万引きは犯罪です。保護者が一義的責任者として、家庭で十分に指導し、防止することが大切です。

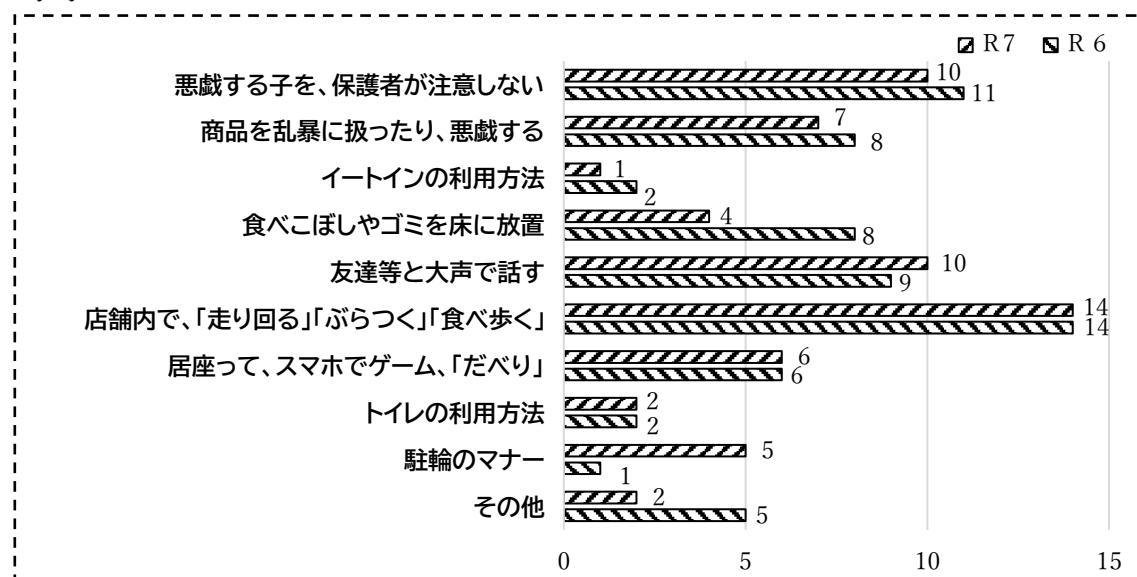
##### ③小売店等が迷惑だと思う「たむろ」について（上がR7年度）



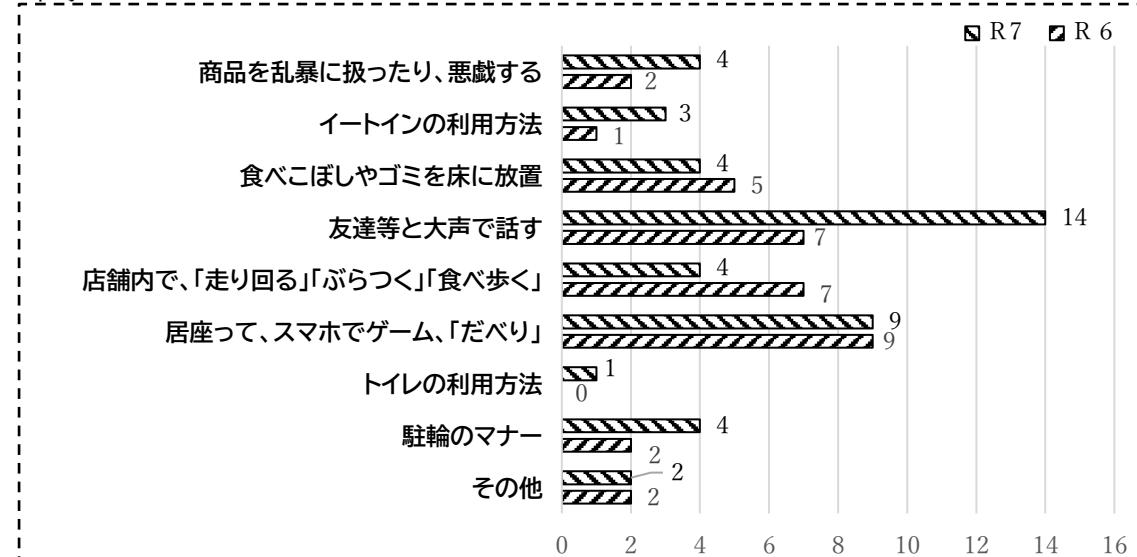
③ コンビニエンスストアなどの店舗前や、物流施設のフリースペースでのたむろが目立ちます。また、ファミリーレストランは、長期休みや学校の運動会などのイベント後に、少ない注文で長時間居座ることに困り感をもっています。一つのマナーとして子ども達に教えていけたらと思います。

④小売店等において利用マナー等あまり良くなかった、悪かった内容の学校種別  
(全て上がR7年度)

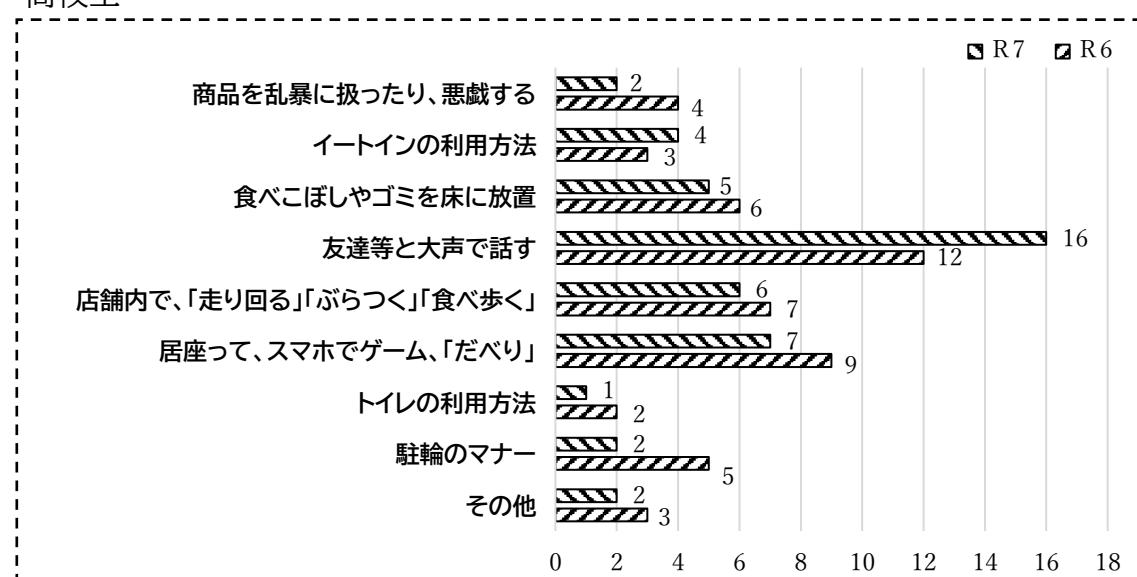
・小学生



・中学生



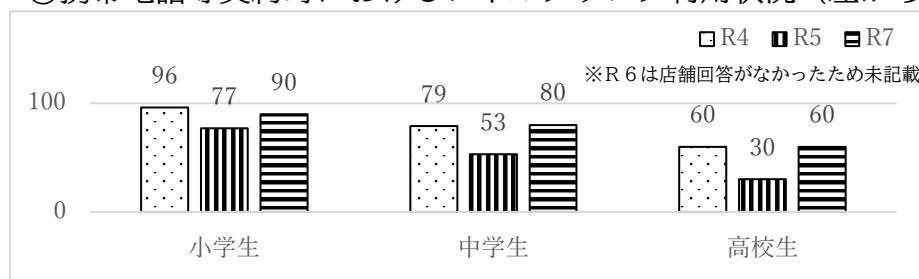
・高校生



④ どの学校種（小学校・中学校・高等学校）においても大声で友達と話すことや、居座りだべっていることについて課題があることがわかります。他にも、聞き取り調査では、コンビニエンスストアのフリースペース以外にも物流施設のフリースペース等を占領しているケースもありました。マナーに関することは、幼少期に大人がしっかり教えていくことが大切であると考えます。また、子どもの頃にきちんと規範意識を育てることは、将来の非行や犯罪への防止策となります。

聞き取り調査の中に、「悪戯する子を保護者が注意しない」との回答がいくつか見られました。一方で、「店舗利用のマナーが良かった」「普通」という良い方面の意見も多くいただいている。「自分の行動が人に迷惑をかけないか」を考えられる子どもは、他者を思いやれる、きちんとした大人に成長していくと思います。マナーを学ぶ最初のきっかけとして、「私たち大人の声かけ」も必要です。子ども達に対する関わりや日常的な行動を見て、正しく教えていくことなどの直接的な働きかけも大切なではないでしょうか。

#### ⑤携帯電話等契約時におけるフィルタリング利用状況（左からR4年度）



⑤ 近年、SNSが犯罪に使用されているケースも増えており、保護者や子ども自身が危機管理の意識を高めていくことも重要です。

フィルタリングは有害サイト等の閲覧を制限するもので、子どもたちの安全を守るものです。アプリなどを使用するために利用していないこともあるようですが、事件・事故に巻き込まれないためにも再度考えることが必要なのではないでしょうか。

今年度、携帯会社店や取り扱い店舗の聞き取りの中で、「子どもがバーコード決裁で買い物をしていて保護者の知らない請求がきた」「通信速度制限を有料で行い、思わぬ請求が発生した」というトラブル内容がありました。親子間での約束事を今一度確認し、トラブルに発展しないようにしていくことが大切であると考えられます。

昨年に引き続き、地区からの要望によりインターネットによる回答も実施しましたが、インターネットでは回答店舗が少なく、全体の回答件数も少なくなりました。

聞き取り調査においては、具体的にお答えいただいている店舗も多く、子ども達の地域での姿について知ることができました。それは、実行委員の方々の丁寧な聞き取り調査や会議での充実した話し合いの実績と言えます。

店舗に対するマナー問題も多様化しており、スマートフォン等を活用したSNS関連による問題もでてきてています。そのような問題に対して、何に気を付けながらどう啓発していくかを考えていくことも必要になってきているのではないかでしょうか。

社会環境が日々変化する中、調査を通して、地域の一員でもある各店舗とも情報共有していきながら、互いに良好な社会環境づくりをしていき、地域全体で子ども達の安心・安全を見守っていくことが大切だと思います。

なお、本年度も全地区で店舗調査を実施していますが、店舗調査の他に危険個所の調査や子どもの生活についてのアンケート調査などを行った地区もありました。

市全体の調査結果についてまとめました。各地区の詳細に関しては、今後、流山市のホームページで公開する予定です。